



ジャンボ!とは、スワヒリ語で「こんにちは」の意味。転じて、この「出会い」を楽しむ関係=ネットワークづくりのココロイキとして、名づけました。



発行：もっともっと環境塾 2000 編集：ジャンボ環境塾
住所：〒460-0008 名古屋市中区栄1-23-13 伏見ライフプラザ12F
なごやボランティア・NPO センター 気付 メールボックス NO.4
URL: <http://www.geocities.jp/mottomottokan2000/>
E-Mail: motto2_2000@hotmail.com
メーリングリスト: motto-2@yahoogroups.jp

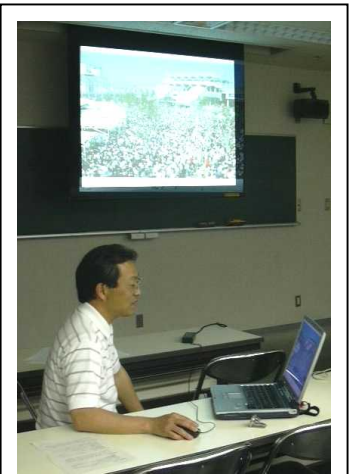
みなさま、お元気ですか。

暦の上では秋。まだまだ暑いですが、虫の音を聞くと、何となく秋を感じる今日この頃です。

2006年5月7日(日)、「もっともっと環境塾2000」の総会が無事、終了しました。昨年度の活動を振り返り、今後の活動に向けての一步がまた始まりました。会員数や参加者がなかなか伸びない現状です。一人の市民として「できることをやる」という「もっと2」設立時の原点に還れば、自ずと道はみえてくるのでしょうか。

活動実績 2006年4月～

- 2006/8/12(土)・・・なごや環境塾修了生の集まり
- 2006/8/9(水)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 下水道科学館 夏まつり
8月 定例会
- 2006/7/8(土)・・・7月 定例会
- 2006/6/23(金)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 中村区豊臣小
- 2006/6/19(土)・・・6月 定例会
- 2006/6/4(日)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 なごや水フェスタ
千種区鍋屋上野浄水場
- 2006/5/24(水)・・・「カンちゃんのダメダメ日記」 港区明徳小
- 2006/5/7(日)・・・2006年総会&愛・地球博報告会
- 2006/4/16(土)・・・4月 定例会



思い出を語るM氏

2006年度 総会&愛・地球博報告会

5月7日(日)

なごやボランティア NPO センター集会所

参加者: 会員8名

2006年度の総会が、なごやボランティア・NPO センター(伏見ライフプラザ12階)集会所で開催され、予定された議題が承認されました。絵本「カンちゃん」出版化については、今後も検討していきます。詳細は、議事録をご覧ください。

総会後は、今回のメインイベントの愛・地球博報告会でした。

2005年の185日間、来場者が2200万人を超えた愛・地球博は、様々な形のメッセージを発信しました。来場者・参加者だけでなく、多くの人々の心に何かを残したことと思われれます。

その万博に3年9ヶ月も関わった元パビリオン館長のM氏がその思い出を語りました。伺い知れぬ来賓・皇族方の舞台裏話。そして、おもてなしの心と子どもたちから多くを学んだという経験談。沢山の写真を使いながら、懐かしそうに話されました。また、出会った人たちとの繋がりが閉幕後も続いているそうです。

貴重なお話、有り難うございました。

もっと2の皆様お変わり御座いませんか。ご無沙汰致しております。この度、近況を投稿させて頂く機会を頂きました。ありがとうございます。

平成13年7月、三井化学を定年退職後、コーチングセミナー講師を務めたあと、約1年半、地下水飲料化の水処理会社に顧問として週3日お世話になりました。65歳で一応退社し、新たに、名古屋市工業技術振興協会の派遣指導員として、金属加工の会社でTPMの指導をさせて頂くことになりました。今まで、会社や社会で学んできた色々なことでお役に立てそうで、最後のお仕事とファイトを燃やし喜んでおります。場所は西国参り33番札所、満願寺谷汲山のある揖斐の工場で、片道2時間半かかりますが、「やり甲斐、生き甲斐、働き甲斐」のある仕事なのでくたびれません。(笑い)

3年前から、畑を借りて、無農薬有機野菜の自給自足を目指しています。農園の仲間に学んだり、本で勉強しながら色々な野菜に挑戦しています。今では、野菜の成長と収穫が楽しみで一日が始まる感じです。収穫物は、ご近所や遠方の知人の方々に頂いてもらいます。「Hさんに頂いた野菜はとても美味しい、甘い甘い！」と喜んで頂ける事が自分にとって一番幸せな瞬間です。肥料は米ぬか(こしひかり?)主体で作っているの甘いのかな?(笑い)。

何事も生涯勉強・生涯現役で、「若返りと生き甲斐の創造」を目指して「ミッション原club」を5年前から主催しています。仲間の体験談や外部講師をしたりして勉強会を開催していますが、その度に、自分の血となり肉となり若返っています。

常日頃、次のようなことを考え、自問しています。何のためにこの世に生を受け、何をすべきか?自分のミッション、使命は何か?果して、この世に役立つ事ができるのか。何を後世に伝え、何を残せばいいのか?小さくてもキラリと光るものを残したい。肉体が死んでも、死なないものは何か?本当の幸せとは何か?どこにあるの?人の一生とは何か?どう生きればいいのか?このような疑問を解くために、遅まきながら西国参りに出かけたい。次の座右の銘を両手に抱いて出かけよう。

「苦難は幸福の門」「幸せは今ここにあり」



第48回水道週間行事 なごや水フェスタ 育む水の環

2006.6.4(日) 鍋屋上野浄水場

市上下水道局の鍋屋上野浄水場の開放にともなう「なごや水フェスタ」に「カンちゃん」が参加しました。この「なごや水フェスタ」への参加は、今回で3回目となります。

当日、もっと2応援団のY局長やI経営本部長(元推進課)の懐かしい顔と再会することもできました。

午前と午後の2回、紙芝居「カンちゃん」をサイエンスエリアとなった浄水場の本館で実施しました。

隣の体験教室の参加者も観覧していたので、たいへん大勢の前で演じることとなりました。

最後に、牛セン人形をリサイクル・リユースに関係づけて紹介しました。

また、この日のメインステージの最終イベントでエコソング「みんなでへらそうCO2」を踊りました。特設ステージに椋山女学園のストリートダンサーたちや環境都市推進課2名と一緒に、観客に振りを説明しながら楽しく踊りました。

この踊り、簡単な振りなので小さな子たちでもすぐできますよ。



お揃いのCO2ユニフォーム



Y局長、
ありがとう
ございます。

下水道科学館をご存じですか。北区の名城下水処理場に隣接し、市政百周年(平成元年)を記念して開設された、下水道のしくみや大切さを知らせる下水道PR施設です。

水の世紀と言われて久しい今、命の水に関わる名古屋市の施設を「カンちゃん」を通して、訪れることができたのは、命の繋がりが一人の繋がりが循環などを考える上でいろいろ参考となりました。

今年の「下水道科学館 夏まつり」は、まるはちの日の上下水道局のイベントとして8月8日～10日に開催されました。8月9日(水)の一つのイベントとして紙芝居「カンちゃん」を実施しました。

エコソング「みんなでへらそうCO2」は、この夏前に盆踊りバージョンである「みんなでへらそうCO2音頭」が新たに追加されました。

このCO2音頭と一緒に踊るために参加した上名古屋保育園の約50名の園児たちが、紙芝居「カンちゃん」では、元気な声を出してくれました。そしてキッコロとモリゾーも加わり、輪になってCO2音頭を踊りました。



近況

M.S

もっと2のみなさま こんにちは、Sです。

既にご存知の方もいらっしゃると思いますが、私、名字が変わりました！実はこの度結婚することとなりました。相手は前職である中部リサイクル運動市民の会で、同志として2年間共に過ごした、S君です。慣れるのに時間がかかるかもしれませんが、今後は「S」と呼んでくださいね。しかし、名字が変わるのってほんと妙な気分ですね。意外なパワーがあるように感じました。

現在は籍を先に入れましたので、共に暮らしています。仕事しながら「なんちゃって主婦」をしています。今日は洗濯干しできる天気か？ごみ出しの曜日か？などかなり敏感になりつつも、最近私の凝っていることといえば料理。と言いたところですが、料理する前の食材選びにかなり凝ってます！

半年ほど前から有機野菜を宅配してくれる業者と契約をしました。すべて有機野菜(無農薬で化学肥料を使用せず栽培された野菜)というわけにはいきませんが、旬の野菜をいただくことは、今の私の楽しみです。

私の中の味評価で「あまい！」という言葉はかなり評価が高くて、これは砂糖の甘さではなく、旬の新鮮な食べ物のもつ甘さです。サバでも、トマトでも、ほうれん草でも本当に新鮮なものには甘さがあります。今(7月中旬)の季節だと・・・とうもろこしが最高に「甘い」ですよ。

6月頃、青梅を注文しました。そう、梅酒をつくるためです(梅酒大好き！)。恥ずかしながら梅がほんの短い期間しか売られてないことを知り、私的にかなりの付加価値がつき、思わず焼酎や洗双糖も一緒に注文してしまいました(笑)。翌週になると一粒3.5cmほどの大粒梅が到着して、さっそく作ってみることにしました。梅を8時間ほど水につけてアクを抜き、そのあと一粒一粒丁寧にふき取って、へたはずします。そこまでやればあとは簡単。焼酎と洗双糖を入れて3ヶ月ほど待つのみ。毎日、一度は気になって、横にゴロゴロ転がして様子を見ています。今ではあんなに大粒だった梅たちも黄色く小ぶりになってきて、沈むもの、浮くものさまざまです。あー、早く飲みたい有機梅酒・・・です。

きっと梅酒が上手にできあがったら、今度は「味噌づくり」や「漬物づくり」がしたくなるのかな・・・と意外と地道な作業が好きな自分に気づきました(笑)。きっとみなさん、失敗談含めいろいろ経験されているでしょうから、またいつかうまく作るコツを教えてください。



なごや環境塾は平成12年(2000年)から6期まで修了生を送り出しました。今年度から、環境塾は「なごや環境大学」の事業として実施され、環境大学事務局もエコパルに設置されました。エコパル館長職は廃止され、M環境都市推進部主幹が兼務です。

この日は、T先生やK推進部長を迎えて、修了生として今後何ができるかを話し合う「修了生の集まり」が開催されました。

1期修了生の参加は6名で、久しぶりに顔を合わせる「もっと2」メンバーもいました。

環境塾の講座内容・ねらい・形式も違い、経験も異なる修了生から様々な意見が出ました。そして当然、まとめられないほどの多様さ。再度、話し合いの場が開かれることとなりました。



「なごや環境塾2006」受講生 募集

本年度も「なごや環境塾 2006」が開講されます。本年度の主催はなごや環境大学実行委員会、企画・運営をNPO法人中部リサイクル運動市民の会が行います。

次世代の子どもたちに環境のことを伝え、小学校などで環境問題についての授業をするための、「環境学習」をテーマにした連続講座となっています。

環境問題の基礎知識をはじめ、子どもたちとの接し方、環境学習プログラムの作り方などを学ぶことができるものです。まさに、地域の環境学習のリーダーの育成をめざしているものです。また、環境学習に取り組む仲間を見つけられるものとなるでしょう。申し込み締め切りは9月10日までです。

募集のチラシには、昨年度に引き続き「カンちゃん」の写真が使われていますよ。そして、第6回11月11日(土)の午後の講義はA代表が行う予定です。



お知らせ掲示板

- ・なごや環境塾修了生の集まり 9月2日(土) 伏見ライフプラザ 4階 講堂 13:00~15:00
 - ・9月定例会 9月16日(土)なごやボランティア・NPOセンター フリースペース 13:30~15:30
- * 詳細は、Aまでお願いします。

編集後記

愛・地球博の理念を継承・発展する運動が広がっています。モリコロパークやあいち海上の森センターのオープン。NPO法人愛・地球博ボランティアセンターの設立やEXPOエコマネーの事業などです。

そして、2005年にスタートした「なごや環境大学」は、その前身である「なごや環境塾」を主催することとなりました。

人材育成事業の第1期生として、できることを一步一步、進んできた「もっと2」です。その足跡は、一言では言い尽くせません。

今回の修了生の集まりは、何となく昨年の修了生プロジェクト会議のような雰囲気を出させました。しかし同じことの繰り返しでは、進歩がありませんね。さあ、考えどころです。・・・。

(BY ドクター)

